

# Contents

当金庫の事業方針……………	03	お客様に「安心」「安全」に お取引いただくために……………	29
当金庫の概況……………	04	財務の状況……………	37
但馬信用金庫と地域社会……………	05	注記事項……………	39
中小企業の経営支援 及び地域活性化への取り組み……………	07	預金の状況……………	42
主な商品・サービスのご案内……………	13	貸出金の状況……………	43
おすすめ商品・サービスのご案内……………	16	有価証券の状況……………	47
主な手数料のご案内……………	21	有価証券・為替の状況……………	49
総代会……………	23	経営指標その他……………	50
役員・組織……………	25	自己資本の充実の状況……………	53
たんしんのあゆみ……………	26	店舗紹介……………	61
統合的リスク管理態勢……………	27	キャッシュコーナーのご案内……………	62



## コウノトリ(豊岡市)

1971年に日本の空から姿を消した野生のコウノトリ。国内最後の生息地だった豊岡では、半世紀以上にわたりコウノトリの「いのち」を育む取組みが行われ、今では野外に200羽以上のコウノトリが暮らしています。

## ごあいさつ



会長 宮垣 和生 理事長 森垣 裕孝

平素は当金庫をご愛顧いただき、厚くお礼申し上げます。  
本冊子は、皆様に当金庫へのご理解を一層深めていただくために作成したものでございます。

当金庫の業績、業務内容などについてご理解いただく一助になれば幸いに存じます。

さて令和元年度は、海外経済の減速や米中貿易摩擦等の影響を受け、外需が弱い状況であったものの、国内の雇用・所得環境の改善等により、10月の消費税率の引上げ後も、内需を中心に緩やかに回復してきました。しかし、その後に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により状況が一変し、東京オリンピックの開催延期など、国内外で様々な影響が広がりました。営業区域内においても観光客の大幅な減少、食料品小売業等を除く幅広い業種において売上、受注の減少等が企業の資金繰りや雇用環境に影響することが懸念されておりますが、政府による財政・金融政策、雇用政策の効果を注視しているところです。

令和元年度は、中期経営計画「原点回帰 新たなステージへの持続的な発展」(令和元年度～令和3年度)の初年度として、持続可能なビジネスモデル構築のために、①顧客との接点の向上による地域密着型経営の強化、②組織力を発揮した提案力の向上、③継続的な信頼を得るための経営管理態勢の強化の3つを基本戦略として掲げ、取り組んで参りました。その中で、豊岡の地場産業である鞆産業の次世代後継者育成を目的に、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキームとしての実践型育成プロジェクトの開始、地方で初めてとなる「地域クラウド交流会」全国グランプリ大会の開催等、起業家の応援を通じた地域活性化に取り組みました。また、個人のお客様向けには、職域ローンや通帳レス商品に加え、資産承継を目的とした一時払い保険等、多様なニーズに対応した新商品の取り扱いを開始しました。

令和元年度の決算におきましては、期末残高で、預金積金は4,597億52百万円、貸出金は1,794億60百万円となりました。当期純利益は、資金の効率的な運用、経営全般の合理化に努めるとともに、資産の健全性確保のために諸償却並びに諸引当金を繰入れ後、9億17百万円を計上した結果、自己資本比率は23.92%と引き続き高い健全性を確保しております。

日銀によるマイナス金利政策は5年目に入り、金融機関を取り巻く収益環境に好転の兆しが見られない中、新型コロナウイルス感染症の拡大は世界経済はもちろん、地域経済に計り知れない影響を及ぼすことが懸念されております。このような経営環境の中、令和2年度においては、まずは現下の新型コロナウイルスの影響を受ける中小企業者や地域の皆様に対し、資金繰り支援等を通して金融仲介機能を最大限発揮することに加え、中期経営計画の3つの基本方針に基づく諸施策を確実に実施することで、確固たる経営基盤の構築と健全性の維持に努めて参ります。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

会長 宮垣 和生  
理事長 森垣 裕孝